

## 1年生のテーマ(R6)

- ゼロカーボンの実現にあたって、各企業の費用不足を解消する方法
- 顧客層に適した空き家の活用方法
- 空き家の景観を良くする方法
- 害獣を傷つけずに対処する方法
- 動物と石博物館において、観光客が求めているものを提供するためには
- 日本とフィンランドのプラスチック削減に対する意識の違い
- 放牧酪農経営者が少ない原因の解消
- メタンガス削減のための酪農形態
- 廃棄食材ゼロを目指して
- 木質バイオマス発電の可能性とは

(一部抜粋)

### 1 学年 パネルディスカッション



## 2年生のテーマ(R6)

- 日本とカナダの服装に関する校則の違い、および校則の必要性とは
- 日本の労働時間が多い理由とは
- 足寄の特産品の発信方法
- 人の目に留まりやすい広告とは
- 牛乳を高校生が飲むメリット
- 日本と海外の幸福度の違いとは
- 日本とカナダの文化からなる仕事の違い
- 過疎地域における公務員の役割
- 髪質によるヘアケア方法と費用
- 動物と人間の共存について
- 人種差別はなぜなくなるのか

(一部抜粋)

### 2 学年 中間報告会



## 北海道足寄高等学校 総合的な探究の時間

### 2 学年 茂足寄訪問



### 1 学年 ゼロカーボン双六



担当：進路指導部 加藤

TEL：0156-25-2269

# 探究活動における主な取り組みについて

## 1・2年6～11月 フィールドワーク

それぞれのテーマに関して、書籍やインターネットでは分からない現状やデータを、生徒が直接事業者の方々に調査へ伺う。

## 2年8～11月 防災に関する講話・訪問

自然災害に対する防災対策や防災上の課題等、自分事として捉えてもらうことを目的としている。

昨年度は、防災講話とオンネトーへ訪問した。

## 1年10～2月 ゼロカーボン講話

足寄町が取り組んでいる環境対策、および地球規模の気候変動や環境破壊への理解度を上げる。

昨年度は、講話・ワーク形式を2時間、オリジナル双六を1時間実施。

## <足寄高校 探究パートナー募集>

地域と連携・協働しながら探究活動に取り組み、学びを通じた「人づくり」「地域づくり」を活性化していきたいと考えています。一緒に活動していただける方を募集中です！

登録フォームは  
こちら



## 1年9月 パネルディスカッション

町内事業者の方々が取り組んでいることや課題感を、ディスカッション形式で深めていく。

今後の探究活動への興味関心を引き出すねらいがある。

## 1年12～1月 論文作成

9月から探究した内容を文章でまとめる。テーマ選択の背景、仮説の検証、これからの展望等、説得力のある論文を完成させる。

※11月には総探発表会（2年生）を予定しています。